

# 施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
	計画	基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード 051237
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ 88
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容(番号)		116		~	118

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
116	友好都市等との交流においては、これまでの市民や行政間での交流に加え、青少年交流や文化、経済などの幅広い分野で、かつお互いの地域の発展につなげていけるような実効性あるさまざまな都市との交流を促進します。	A	①	市民交流課
117	地域における国際化をより一層進めるため、友好都市等に限らない世界各国の都市と交流し、国際感覚豊かな人づくり、地域づくりを進めます。	A	①	市民交流課
118	外国人住民からの相談や多様なニーズへの対応に向けた生活支援やコミュニケーション支援により、自立と地域社会への参画を促進するとともに、地域における多文化共生社会の重要な担い手である市民、団体、企業等に対して、より一層の異文化理解の向上に取り組み、多文化共生の地域づくりを推進します。	A	①	市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり			
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成		管理コード	051237116
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進		本冊ページ	88
	関連個別計画						
担当部局		市民部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		116	友好都市等との交流においては、これまでの市民や行政間での交流に加え、青少年交流や文化、経済などの幅広い分野で、かつお互いの地域の発展につなげていけるような実効性あるさまざまな都市との交流を促進します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
				何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
116-1	海外の友好都市姉妹都市との交流事業	友好都市中国鎮江市と姉妹都市ブラジルオザスコ市との周年記念時等において各種記念事業を実施	効	交流関係者の招聘や訪問・交流事業の実施により本市の国際交流事業の推進に寄与する	◆ 国際交流事業の推進	○	コロナ渦以降において初めて鎮江市から訪日団が訪れたことから、引き続き友好都市姉妹都市との交流を続けていきたい。
	誰		市内外の人々	◇ どのような事業を実施したか	○		
	市民交流課		何	本市の国際交流の推進に寄与するため	3 (千円)	現状維持	
116-2	国内友好都市交流事業	国内友好都市上富良野町との新たな友好事業実現のための協議を実施	効	交流事業の実施により本市の国内交流事業推進に寄与する	◆ 国内交流事業の推進	◎	上富良野町との友好都市提携25周年を記念して、さまざまな交流を行った。引き続き友好都市として交流を続けていきたい。
	誰		市内外の人々	◇ どのような事業を実施したか	◎		
	市民交流課		何	本市の国内交流の推進に寄与するため	970 (千円)	現状維持	
116-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
116-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
116-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

116-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
116-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
116-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
116-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
116-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり			
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成		管理コード	051237117
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進		本冊ページ	88
		関連個別計画					
担当部局		市民部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		117	地域における国際化をより一層進めるため、友好都市等に限らない世界各国の都市と交流し、国際感覚豊かな人づくり、地域づくりを進めます。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
117-1	国際交流協会等補助事業	国際交流協会、国際交流ボランティア団体及び国際交流事業に対する補助	効	市内国際交流団体の事業促進	◆ 国際交流及び多文化共生の推進	◎	コロナ渦において中止されていた国際交流協会及び国際交流ボランティア団体の事業が復活し、今後も国際交流に資する支援を行っていききたい。
	誰		市内の国際交流ボランティア団体	◇ 国際交流団体との事業実施	◎		
	市民交流課		何	本市の国際交流に資するため	4,101 (千円)	現状維持	
117-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
117-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
117-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
117-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

117-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
117-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
117-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
117-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
117-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり			
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成		管理コード	051237118
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進		本冊ページ	88
	関連個別計画						
担当部局		市民部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		118	外国人住民からの相談や多様なニーズへの対応に向けた生活支援やコミュニケーション支援により、自立と地域社会への参画を促進するとともに、地域における多文化共生社会の重要な担い手である市民、団体、企業等に対して、より一層の異文化理解の向上に取り組み、多文化共生の地域づくりを推進します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価		
	担当課		何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価		
					決算額 (千円)	今後の方向性		
118-1	外国人住民総合相談窓口事業	市内に在住する外国人住民に対し、生活に係る適切な行政情報や相談部署に迅速に到達できるように情報提供及び相談を多言語で行う一元的な窓口の設置による外国人住民への生活支援	効	窓口等での通訳や行政情報の多言語化を行う	◆	多文化共生の推進	◎	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくなってきたことにより相談件数はやや減少したが、外国人人口が過去最大を更新しており、引き続き一元的な窓口の設置による外国人住民への生活支援を行っていきたい。
	市民交流課		誰	市内に在住する外国人住民	◇	年間相談件数	◎	
			何	母国語で説明することにより、伝える側受ける側共に的確な意思疎通ができるため、適切な行政サービスの提供につながる	12,102 (千円)	現状維持		
118-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
118-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
118-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
118-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

118-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
118-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
118-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
118-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
118-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

